

令和元年2月5日(水)

※内訳③(「アユカ利用」及び「割引サービス利用」)は確認可能だった場合のみカウント

本田・七崎線										
時間	比率	合計	内訳①				内訳②		内訳③	
			子ども	学生	大人	高齢者	男性	女性	アユカ利用者	割引サービス利用者
6:20	14%	13	0	5	8	0	5	8		
7:30	9%	8	0	1	7	0	3	5		
8:50	12%	11	0	1	8	2	1	10		
11:05	11%	10	0	0	9	1	4	6		
12:20	13%	12	0	0	9	3	4	8		
15:25	10%	9	0	1	8	0	1	8		
16:35	11%	10	0	2	8	0	2	8		
17:45	6%	5	0	0	5	0	1	4		
19:00	11%	10	0	1	9	0	3	7		
20:15	2%	2	0	1	1	0	1	1		
合計	100%	90	0	12	72	6	25	65	0	0
比率			0%	13%	80%	7%	28%	72%		

4路線の中で2番目に利用者が多い路線である。

今回の調査では、大人の利用が8割と特に多かった。(前回調査では、学生・大人・高齢者が均等に利用していた。)

時間帯別にみると20:15便を除いて、どの時間も均等に利用されており、通勤・通学利用だけではなく、あらゆる移動手段として定着してきたことをうかがわせる。特に、19時台便は前回調査と比較して、利用者が大幅に増加(4人⇒10人)しており、バス利用の定着が見られる。

また、属性別に見ると、女性の利用が約7割を占めた。この傾向は前回調査時も同様であり、この路線も、女性の利用割合が高いことがわかる。

令和元年2月7日(金)

※内訳③(「アユカ利用」及び「割引サービス利用」)は確認可能だった場合のみカウント

馬場十七条線										
時間	比率	合計	内訳①				内訳②		内訳③	
			子ども	学生	大人	高齢者	男性	女性	アユカ利用者	割引サービス利用者
6:35	11%	10	0	2	8	0	2	8		
7:45	9%	8	0	0	8	0	1	7		
8:40	15%	13	0	0	8	5	4	9		
9:35	6%	5	0	0	3	2	3	2		
11:35	7%	6	0	0	6	0	2	4		
12:30	7%	6	0	0	6	0	2	4		
15:30	7%	6	0	1	5	0	1	5		
16:30	10%	9	1	0	8	0	2	7		
17:35	7%	6	0	0	6	0	1	5		
18:35	14%	12	0	3	9	0	2	10		
19:35	5%	4	0	2	2	0	1	3		
20:35	3%	3	0	1	2	0	2	1		
合計	100%	88	1	9	71	7	23	65	0	0
比率			1%	10%	81%	8%	26%	74%		

4路線の中で3番目に利用者が多い路線である。全便の利用者合計は88人であった。

朝3便(6時・7時・8時)と夕方3便(16時・17時・18時)の利用割合が高く、通勤通学の利用者がその帰りにも利用していることをうかがわせる。

大人の利用率が81%と高い。また、女性の利用率が7割強であり、女性に多く利用されていることがわかる。

令和2年2月12日(水)

※内訳③(「アユカ利用」及び「割引サービス利用」)は確認可能だった場合のみカウント

十九条古橋線										
時間	比率	合計	内訳				内訳②		内訳③	
			子ども	学生	大人	高齢者	男性	女性	アユカ利用者	割引サービス利用者
6:25	10%	14	0	6	6	2	7	7		
7:40	9%	12	0	1	10	1	5	7		
9:00	16%	22	0	0	6	16	3	19		
11:10	13%	18	2	0	9	7	3	15		
12:25	14%	19	2	1	7	9	2	17		
15:15	13%	18	0	1	9	8	5	13		
16:15	8%	11	0	4	6	1	3	8		
17:15	6%	9	0	2	4	3	4	5		
18:20	4%	6	0	3	3	0	1	5		
19:25	6%	8	0	0	8	0	6	2		
20:30	2%	3	0	1	2	0	3	0		
合計	100%	140	4	19	70	47	42	98	0	0

比率 3% 14% 50% 34% 30% 70%

4路線の中で最も利用者が多い。全便の利用者合計は140人であった。その内、大人利用者70人(50%)、高齢者利用者47人(34%)で、117人が利用している。

特に6時～15時台便までの利用が多く、その利用割合も均等に利用されている。朝の時間帯の利用だけでなく、昼の時間帯(11時～15時台便)の利用が多いことから、通勤通学だけでなく、買い物、通院などの目的で利用されている可能性が高く、市民の移動手段として定着してきたといえる。

また、女性の利用者割合が7割

令和2年2月14日(金)

※内訳③(「アユカ利用」及び「割引サービス利用」)は確認可能だった場合のみカウント

牛牧・穂積線										
時間	比率	合計	内訳				内訳②		内訳③	
			子ども	学生	大人	高齢者	男性	女性	アユカ利用者	割引サービス利用者
6:30	4%	2	0	0	2	0	1	1		
7:35	11%	6	0	0	5	1	0	6		
8:45	14%	8	0	0	5	3	5	3		
9:40	9%	5	0	0	3	2	3	2		
11:30	16%	9	0	0	3	6	4	5		
12:35	16%	9	0	0	6	3	3	6		
15:20	5%	3	0	1	0	2	1	2		
16:25	7%	4	0	0	4	0	4	0		
17:25	11%	6	0	1	3	2	1	5		
18:25	0%	0	0	0	0	0	0	0		
19:30	5%	3	0	0	2	1	2	1		
20:25	2%	1	0	0	1	0	1	0		
合計	100%	56	0	2	34	20	25	31	0	0

比率 0% 4% 61% 36% 45% 55%

4路線の中で最も利用者が少ない。全便の利用者合計は56人と十九条古橋線の半数にも満たない。

他の路線と比較して、6時台便、7時台便の利用者割合が少なく、通勤・通学利用で利用されていない。また、18時以降の3便の利用者は4人であり、夜間の利用者の少なさが際立っている。

また、男女の利用比率がほぼ同数であることは前回調査とも同様であり、この路線の特徴といえる。